

2022年10月3日(月) 19:00



# 『琴』の正体を探る



ハープの和名は豎琴、アルパはハープのスペイン語。馬頭琴はモンゴルの象徴。共通するのは「琴」という文字で、「こと」とも「きん」とも読む。日本の「こと」には「箏」という文字も使う。さらにヴァイオリンの和名は提琴、ピアノは洋琴でオルガンは風琴、ハーモニカは口風琴。木琴、鉄琴、炭琴に口琴、水琴窟という楽器もある。現代中国語ではピアノは鋼琴。さてさて、「琴」とは一体何なのか？ 日本と世界の「こと」と「きん」を紹介しながら、「琴」の正体を探ってみましょう。

**講師：嶋和彦(元浜松市楽器博物館学芸員・館長)**

1955年大阪生まれ。京都大学教育学部卒業。リコーダーと民族音楽文化を大阪音楽大学西岡信雄氏に師事。公立中学校教諭、ジャカルタ日本人学校教諭を経て、1994年より浜松市楽器博物館開設準備に携わり1995年から同館学芸員、2004年から2019年まで館長、2021年退職。在任中、博物館CDが文化庁芸術祭大賞、館の活動が小泉文夫音楽賞受賞。2019年国際博物館会議 ICOM 京都世界大会運営委員。大阪芸術大学、静岡大学他で非常勤講師を歴任。



..... **関連企画** .....

aiphonic 地球音楽プログラム

## 三つの琴でめぐる世界 ～アルパ・馬頭琴・ハープの調べ～

アルパ、馬頭琴、ハープの3人の奏者による、世界に類を見ない楽器の組み合わせで、民族音楽や映画音楽など、世界中の名曲をお届けします。



10月15日(土) 14:00 開演 会場：伊丹アイフォニックホール メインホール

前売チケット：一般 3,000円 学生 1,000円 (当日各500円増) 全席指定 伊丹アイフォニックホール等で **7/22(金)より発売**

■会場：伊丹アイフォニックホール 小ホール1

■受講料：1,500円

<受講料のお支払い等について>

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、講座当日のお支払いとさせていただきます。また、内容等が変更になる可能性がございます。何卒ご了承ください。

■申込方法：お電話、またはご来館にてお申込みください。  
定員40名になり次第、締め切ります。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、定員が変更になる場合がございます。

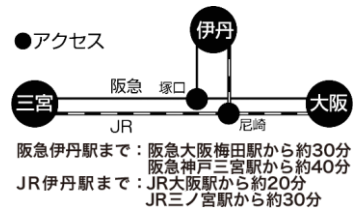
■お申込み・お問合せ：

伊丹アイフォニックホール(伊丹市立音楽ホール)

☎ 072-780-2110 (9:00~22:00/休館日:水曜日、12/29~1/3)

〒 664-0895 伊丹市宮ノ前1丁目3番30号

■主催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/伊丹市



7/22(金)  
受付開始

電話受付は  
13:00~  
(初日のみ)



阪急伊丹駅から徒歩約4分・JR伊丹駅から徒歩約7分  
※周辺に有料駐車場がございます。

ホームページやSNSで最新の情報をチェック!

🏠 <http://aiphonic.jp/>    📘 <https://fb.com/aiphonic/>    🐦 @ItamiAPHall    🐼 @APchan\_aiphonic